

慢性疾患をもつ子どものセルフケア能力獲得支援

看護学科

望月 浩江 助教

【研究分野】 小児看護学

【キーワード】 小児、慢性疾患、セルフケア、子育て支援

【U R L】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=138mochi>



研究概要

慢性疾患をもつ子どもは、成長発達に伴い親が子どもに代わって行っていた病気のケアを子ども自身が獲得し、日常生活の中で実施していくことが必要になります。

慢性疾患をもつ子どもが自分自身で病気の管理を行っていく力（＝セルフケア能力）を獲得できるための支援について、研究しています。

研究紹介

●慢性疾患をもつ子どものセルフケア獲得支援に関する研究

慢性疾患(特に1型糖尿病)をもつ子どもがセルフケア能力を獲得していくために、親は子どもにどのような関わりを行っているのか、どのような困難があるのか、子どもはどのようにセルフケア能力を獲得していくのか、そのための支援について研究を行ってきました。

●慢性疾患をもつ子どもへの保育所での支援に関する研究

慢性疾患をもつ幼児期の子どもの保育所生活において、保育所看護職がどのように保育士や親と連携しながら子どものセルフケア能力高める支援をしているのか、また親のケア能力を高める支援を行っているのか明らかにし、保育所における慢性疾患をもつ子どものセルフケア能力を高める支援の看護方法モデルを開発していきたいと考えています。

講座テーマ紹介

- 慢性疾患をもつ子どものセルフケア能力を獲得への支援について
- 慢性疾患をもつ子どもの保育所・学校での支援について

アピールポイントなど

小児病棟での臨床経験から、慢性疾患をもつ子どもと家族への支援について研究を行ってきました。慢性疾患をもつ子どもがセルフケア能力を獲得していくための支援、慢性疾患をもつ子どもが保育所や学校で生活しやすい支援体制を構築するための研究に、取り組んで参りたいと考えています。